

2018年4月27日
 発行:幸福の科学出版株式会社



司馬遼太郎の霊が日本を一喝 南北融和で「日本がなくなる」

南北軍事境界線上の板門店で27日、南北首脳会談が行われ、「融和ムード」が加速しています。会談に先駆けて大川隆法・幸福の科学総裁が、作家の故・司馬遼太郎氏の霊を招霊。司馬氏の霊は、融和の先に訪れる「日本の危機」について警鐘を鳴らしました。



板門店で「歴史的」な握手を交わす、金氏（左）と文氏（NHK ニュース映像より）。

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長と韓国の文在寅大統領が27日、南北軍事境界線上の板門店にある韓国側施設「平和の家」で、南北首脳会談を行いました。

北の非核化や朝鮮戦争の終戦宣言などが話し合われた様子で、「融和ムード」が加速。しかし、これで「北が平和裏に非核化する」と考えることはできません。

「融和」の先の3つの危険

①まず、北は「時間稼ぎ」をして、核・ミサイル開発を再開するでしょう。来年以降、天皇陛下ご退位、東京五輪、米大統領選など、日米が動きにくくなるイベントが続きます。

②トランプ政権は、北の「時間稼ぎ」の意図を見抜きながらも、それを容認しかねません。11月の中間選挙で勝つため、北に対して部分的譲歩を続け、一時的な「先のばし」を政治的成果としてアピールする可能性があります。

③北は、米本土に届く核搭載の大陸間弾道ミサイル（ICBM）の実戦配備が近いと言われています。アメリカが日本のために北と戦うことをやめた場合、日本は「まな板の上のコイ」となります。

3年以内に「国防国家」へ
 こうした国際情勢の流れに対して、天上界から警告が下っています。

4月19日、大川隆法・幸福の科学総裁が招霊した、作家・司馬遼太郎氏の霊は、危機感のない日本人を叱り飛ばしました。

マスコミに足を引っ張られ、北に融和的になっているトランプ氏について、「日本は『アメリカの大統領だろう？』しっかりやれ！」と尻を蹴飛ばすぐらいでないと駄目だ」と指摘。

北や中国という独裁国家が民主主義的な価値観に挑戦している状況について、「世界史を変えるための戦いが始まる」としている。（中国は）日米同盟、米韓同盟を断ち切りに入っている。ハワイを境に、（アメリカと中国で）地球を半分にする天下二分の計だ」と語りました。

また司馬氏の霊は、「今はアヘン戦争のときに目覚めた明治維新の志士たちが『このままではこの国はなくなる』と思った時代に相当する』『危ないよ！ほんとに危ないよ！』と強い口調で警告しました。

司馬氏は生前、『竜馬がゆく』『坂の上の雲』などで救国の英雄を数多く描いてきました。それらは見方を変えれば、「日本存亡の危機」の物語でもあります。そして今、同じ雰囲気

後半、司馬氏の霊はこう語りました。「3年以内に、少なくとも日本がちゃんと国防国家として立ち上がれるようにならなきゃ駄目だよ」と。

北朝鮮の完全武装解除を

金氏の「融和」路線に世界が傾きかけている今こそ、正念場です。手遅れになる前に、北に「完全な武装解除」をさせなければなりません。

そのために、日本の首相をはじめとする政治家は、トランプ氏に「悪魔の犯罪国家を見逃してはならない」と檄を飛ばす必要があります。

同時に、日本単独でも北朝鮮と対峙できるように、「核装備の宣言」「金氏を直接威嚇できる巡航ミサイル保有」「拉致被害者を奪還する特殊部隊の強化」「憲法9条の改正」などの議論を正々堂々と行うべきです。

今、政治家を含め、日本人には、現状維持や自己保身と戦う「愛国心」「武士道精神」が求められています。

司馬遼太郎 愛国心を語る
 天国からの緊急メッセージ

「世界史を変える闘いが始まる」

危機に立つ日本人へいま。

大川隆法 著 1,512円(税込)
 発行/幸福の科学出版

TheLibertyWeb
 True insight into world affairs
 日々のニュースへの新たな見方を提供する記事を配信中。

ザ・リバティ 検索

本紙で紹介した霊言は、全国の幸福の科学の精舎・支部・拠点で映像でご覧いただけます。
 お近くの支部はこちらから検索 → <http://map.happy-science.jp/>

本霊言を収めた書籍は書店で順次発刊

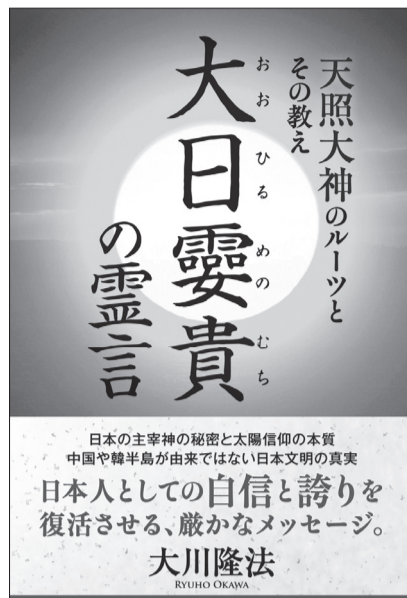
大川隆法総裁の著書



いま、世界が
もっとも知りたい
朝鮮半島問題の
核心に迫る。
日本よ、外交戦略を誤ってはならない。

文在寅守護霊 vs. 金正恩守護霊

南北対話の本心を読む
大川隆法 著
1,512円(税込) 発行/幸福の科学出版



日本人としての
自信と誇りを復活させる、
厳かなメッセージ。
太陽を、再び昇らせるために。

大日靈貴の霊言

天照大神のルーツとその教え
大川隆法 著
1,512円(税込) 発行/幸福の科学出版

月刊「ザ・リバティ」最新刊!

全国書店にて発売中

神を信じると「罪」になる国

平和ムードの裏で進む人権弾圧



- ◆ 牧師が語る「中国のキリスト教が危ない!」
教会で「共産主義」を教えている!? ローマ法王は、共産党に司教を決めさせる
- ◆ 「法輪功」の次に狙われる新興宗教
犯罪のねつ造で、38万人が拘留・投獄
- ◆ 脱北者が語る「地上の地獄」
神を信じれば、家族が全滅する 「祈った」だけで拷問され、10年の強制労働



Jun 2018 No.280 **6**月号
2018/4/28 発行
定価540円

北海道は「一帯一路」に取り込まれる?
中国に「爆買い」される北の大地

米中シネマ覇権戦争の舞台裏
千眼美子、ハリウッド映画を語る

TheLibertyWeb
True insight into world affairs

本誌ウェブ版では最新ニュースを毎日配信中(一部有料)。
本誌バックナンバーもご覧になれます。

the-liberty.com

ザ・リバティ

検索